

# 国語科授業案

日時 平成28年2月26日(金)4校時  
生徒 2年B組 男子16名 女子16名 計32名  
授業場 2年B組教室  
授業者 太田 諭

## 1 単元名 「文章名人になろう3-2」意図が効果的に伝わるように書くには ～企画会議・消費者の心に届くキャッチコピーを書こう～

### 2 単元について

#### (1) 教材観

「書く」ということは、非常に広範かつ複雑な思考を伴う作業である。なぜなら、目の前にいない読み手を想像し、説明不足に陥らぬように書くには、よほどの注意力を払わなければならないからだ。また、相手や目的によって文体や表現を変えるなどの工夫も必要となる。文章のジャンルによっては、相手に想像の余地を残す必要が生じることもある。

国語科において、そうした多様な「書く能力」を育成するためには、小中学校9カ年にわたる指導事項を明確にした上で、それらを段階的かつ継続的に身につけさせる必要がある。

教育出版版中学校2年生用教科書では、「書くこと」の教材として、「文章名人 書くプロセス1～5」「全過程 立場を決めて意見を述べるには」が配置されている。「文章名人」では、様々な形式の文章について「題材収集・構成・記述・推敲・相互批評」といった段階を踏まえて書くことを学習する。また、書くジャンルも、「レポート・投書・物語・詩・手紙」と多岐にわたり、説明的文章と文学的文章を網羅している。このように指導事項を重点化し、かつ多様なジャンルの文章を書くことは極めて重要であると考えられる。

本単元にあたる、「文章名人3-2 心情が効果的に」は指導事項として「記述」を中心とし、「詩」を書くという言語活動を設定している。前単元「文章名人3-1 心情が効果的に」において、「記述」を中心とし「物語」を書くという言語活動が設定されており、それに類する単元となる。

#### (2) 生徒観

#### (3) 指導観

以上のことから、本単元では、「詩」に替えて「キャッチコピー」を題材とし、「交流」を中心とすることとした。理由は次の通りである。①「記述」については、「文章名人3-1」において既習

であること。②「詩」だけでなく「キャッチコピー」も、言葉の美醜に関する言語感覚を培うためにふさわしい題材であること。③「キャッチコピー」は、目的意識・相手意識が明確にもてるため、社会とのつながりが「詩」に比べ密接であること。④「キャッチコピー」は、同一の品物についての宣伝であるため、評価の観点が「詩」に比べ明確であること。⑤「キャッチコピー」の創作は、創造的思考を促す題材であること。

このように、「キャッチコピー」を題材とすることによって、「詩」を題材とするよりも授業効果が高まると考えた。

次に、今回の研究の視点に関わる手だてを述べる。

国語科では、小中共通の教科主題を「自ら言葉にはたらきかけ、言葉の価値に気付く児童・生徒の育成」と設定した。主題はそのまま国語科として自律的に学ぶ児童・生徒の姿を表現したものである。中学校として、目指す姿に近づけるために、以下の手だてを設定する。

### **(1) 社会生活との関連を意識し、選択・限定の余地のある言語活動の設定**

生徒の自律的な学習を促すために、社会生活との関連を意識し、生徒自らが選択・限定の余地のある言語活動を設定する。

今回の題材は、①ソーラーカー、②附中のキャッチコピーをつくることである。前述のようにキャッチコピーは、テレビや広告によって生徒にとって身近であると同時に、社会とのつながりが密接であるといえる。また、創作であるがゆえに、生徒の創造的思考を促す題材である。さらに、校内生活の諸活動を宣伝するような場においても活用が可能であることから、生徒にとって有用感が得やすいと考えられる。

選択・限定についてだが、今回は題材という点では、生徒による選択・限定の余地はない。しかし、題材の特長を多面的・多角的に捉えたときに、様々な要素が見えてくる。そうした複数の要素のうち、どれを選択し、どのように表現するかといった点は生徒に委ねられる。これを「選択・限定の余地」と押さえる。この場面において、生徒の問題解決・発見力が発揮されると考える。

### **(2) 思考を深める「協同・協働」のあり方についての工夫**

国語科における共同・協同・協働の位置づけは次の通りとする。まず、一緒に行うという意味では、あらゆる授業は共同であるにとらえる。一方、協同は、生徒同士が双方向で高め合う場にとらえる。例えば、グループによる練り合いやペアワーク、一斉授業による意見交流などがこれにあたりとらえる。それらに対して協働は、異なる見解や立場、役割の持ち主同士が、共通の課題の解決に向けて取り組む場にとらえる。グループ活動であっても、グループにおいて一つの解を導くような学習がこれにあたる。

本単元においては、次のように協同の場を設定する。生徒が書いたキャッチコピー①について、企画会議と称した一斉授業の形態で最優秀作品を決定する。その活動を通して、優れたキャッチコピーに共通する要素を抽出し、一般化を図る。そのことが、論理的思考の深まりとなり、キャッチコピー②の作成に生かされると考える。また、協同の場は同時に相互評価の場となり、自他の作品の違い、自分の作品への評価が明確になる場にもなる。このことによって、自他の作品にどのような違いがあり、どう改善すればよいのかという批判的思考が促され、視点が明確になると考える。さらに、キャッチコピー②においても交流による協同の場を設定することによって、「優れたコピーとはどのようなものか」という概念の定着を図りたい。

## **3 単元目標**

「キャッチコピーを書く」という言語活動を通して、語句を効果的に用いて、相手の印象に残る短い文章を書くことができるようにする。また、交流を通して相手の印象に残る短い文章の特徴をとらえ、自分の表現に生かすことができるようにする。

※中心となる指導事項と言語活動例

ア 表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること

## **4 評価規準**

関心・意欲・態度	書く能力	言語に関する知識・理解
ア「キャッチコピー」を書いたり，交流したりする際に，効果的な語句や表現のしかたについて吟味しようとしている。	ア商品の長を作品のよさを捉えキャッチコピー①を書いている。 イ交流において気づいた，相手の印象に残るキャッチコピーの特徴を生かしてコピー②を書いている。	ア相手の印象に残るための効果的な語句の使い方について言語化している。

## 5 単元計画（全3時間）

時	学 習 事 項	主な学習活動・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span>	評 価		
			関	書	言
1	●「キャッチコピー①」を書き，企画会議により最優秀作品を選ぶ活動を通して，相手の印象に残る文章の書き方を習得する。	○単元の見通しをもつ。 <span style="float: right;">(1)</span> ○モデルとなるキャッチコピーから，コピー①を書くための見通しをもつ。 ○「キャッチコピー①」を書く。 ○企画会議により，優れたキャッチコピーを選ぶことによって，優れたキャッチコピーの要素について考える。 ○本時の振り返りをする。 <span style="float: right;">(2)</span>	ア	ア	ア
2	●「キャッチコピー②」を書き，交流する活動を通して，相手の印象に残る文章の書き方を活用し，定着させる。	○前時に習得した方法を用いて，「キャッチコピー②」を書く。 <span style="float: right;">(1)</span> ○優れたキャッチコピーを選ぶことによって，その要素を更に明確なものにする。 ○単元の振り返りをする。 <span style="float: right;">(2)</span>		イ	ア

## 6 本時案（1／2時間目）

### (1) 本時の目標

「キャッチコピー」を書き，交流する活動を通して，相手の印象に残る文章を書くためのポイントに気づくことができる。

### (2) 本時の展開

(○…発問，△…補助発問，□…指示・説明)

主な学習活動	教師の働きかけ・ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">手立て</span>	【評価】・備考
1 単元のねらいを知り，学習の見通しをもつことができる。	□今日から2時間，「書くこと」の学習をします。	・ねらいと課題の板書
～消費者の心に届くキャッチコピーを書き， 企画会議で最も売れるコピーを選ぼう～		<span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">(1)</span>

2 モデルとなるキャッチコピーから商品を予想することができる。また、キャッチコピーのおおまかな特徴（短い・一見商品がわからないものがあるが、わかると納得する など）を捉えることができる。【論理的思考】

○これは、なんのキャッチコピーだろう。

嘘は、嫌いだ。

景気も、気分も、晴れますように。

うまさとうまさがうまざった。

開けた瞬間が、入れた瞬間。

つづく香りの、虜になる。

まるで、入れたてのおいしさ。

あたらしいコーヒーをいれましょう。

○共通点は何だろう。

3 商品の長を捉え、キャッチコピーを書くことができる。

○次の商品を売り出すためのキャッチコピーを書こう。

【問題解決・  
発見力】

【創造的思考】

商品・ソーラーカー（SOLA）  
特長

- ①太陽光発電により走行。
- ②新開発蓄電池により、曇りや雨の日でも、一日三百キロメートルまで走行可能。
- ③最高時速百八十キロメートル。
- ④室内は居住性も高く、五人乗り。
- ⑤エアバッグとABSも標準装備。

4 優れたコピーを、次のような根拠に基づいて選ぶことができる。

○これから企画会議を行います。どのコピーが、最も商品を売るために効果的だろうか。一つ選ぼう。 (2)

【論理的思考・批判的思考】

※根拠となる視点例

- ・商品の長が端的に
- ・予想外の視点
- ・リズムや音の響き
- ・消費者心理への働きかけ
- ・視覚的なインパクト など

5 選んだコピーを発表することができる。

○どれを選びましたか。

6 4にあるような視点から、選んだコピーの長について、言語化することができる。【論理的思考】

○なぜそのコピーをを選んだのですか。

7 自分の表現に生かすために、優れたコピーの条件を抽出し、発表することができる。

○どんな工夫ができれば、優れたコピーになる可能性が高まるだろう。

8 次回の予告を聞き、見通しをもつことができる。

○次回は、この条件を生かして、附属中学校のコピーを考えましょう。

・「モデル」を順に掲示する。  
【発言・関ア】

・ワークシートと画用紙配付  
・机間指導  
【ワークシート  
・書くア】

・画用紙を回収し、掲示する。  
【ワークシート  
・言語ア】

・全員が番号で発表する。根拠は述べない。

【ワークシート  
・発言・言語ア】